

中道北小学校移転 下曽根北自治会説明会 会議録

日	時	平成28年8月22日（月） 午後7時30分～8時45分		
場	所	下曽根北公民館	当日参加者数	21人
教育委員会	長谷川教育長・数野教育部長・嶋田教育総室長・深澤総務課長・村田総務課課長補佐・土橋総務課係長・鷹野総務課係長			

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 住民説明会の経過の説明
- 4 候補地とその理由の説明

5 意見交換

住民 北側と南側の比較検討がされているが、面積的に候補地案は 14,400 m²であり、現在地は 16,000 m²あるので約 1 割減ってしまうが、プールなどこの敷地内に入るのか。

教委 敷地が 1,600 m²位狭くなってしまうということであるが、現在の校舎はスペース的に広くとってあるので、候補地案に建てるときには、建物の工夫をする中で現状と同じ広さを確保できるのではないかと考えている。

住民 北小学校が広いというイメージがなく、むしろ建物を押し込んでいるイメージがあったので、約 1 割減ると手狭感が出ると思った。

将来の送迎スペースであるが、現在、雨の日などは父兄が車で送っており、堰の横の 4m の道路を通るので混雑している。候補地案は 1,600 m²狭くなるので手狭感を感じる。将来的な道の導入の考えとバスなどの大型車両の進入について、現在は国道 140 号からスロープダウンしており、候補地案でもそうせざるをえないが、雪が降ったときなどの避難場所としての物資の搬入などアクセス面については悪くなるのではないかと思う。その辺はどのように考えているのか。

教委 決まった候補地について、詳細な調査に入らせていただく。バスや堰のある 4m 道路などは改良していく必要があると思っているが、場所が決まっていない状態であるので、どこをどのように直すのがベストなのかは、決まった場所で最善を尽くすよう努力していきたいと思っている。

住民 中央道南側であれば、土手からの侵入ではなく、国道 140 号の同じレベルからアクセスできるため改善でき、将来、南小の合併はどうなるか分からないが、父兄が車で送迎してきたときにもある程度空地が確保でき、将来的に広がっていくと思うので、将来的な拡張性や融通性も配慮して比較検討し評価していかなければならないのかと思った。

教委 拡張性という部分について、確かに大事であると思うが、農振農用地域であり、教育委員会としても同規模での移転を考えている。それ以上広くなると許可について難しい面も出てくるのかと思う。繰り返しになるが、決まった場所で最善を尽くして行きたいと考えている。

住民 広くなるということではなく、候補地案は狭くなってしまうということであり、将来の拡張性もないことから、最低でも同じ面積で考えていただきたい。農地の集団化であるが、広い地域の真ん中に建てるのであれば、農地の分断化になるが、中央道の南側は、広い農地の端から除外していくことになるので、協議することは可能であると感じている。

教委 農振の協議の部分につきましては、どうしても他に場所がないということであれば、協議可能であるということで、教育委員会として候補地案を示しているが、ここが駄目ということで、他にも候補地がないということであれば、そこも検討の余地はあるということである。面積の部分については、他の学校との比較となってしまうが、この規模の小学校で市内の小学校を比較すると一人当たりの面積は広いほうに入っている。実際、今の小学校よりも面積は小さくなるが、他の小学校との比較では十分であると思っている。

教委 地元の方は知っていると思うが、もともと小学校と中学校があり、その中でグラウンドの設定をしている。他の小学校と比べると、現状が広いと認識している。市内の同規模の小学校と比較しても、候補地案は平均を上回っている状況である。

住民 南側エリア全部を学校用地とするわけではなく、その中で最適な部分を選択し、あとは将来の送迎など融通性を持って対応していくのが良いのではないかと感じる。

教委 現在、山城小学校でグラウンドを拡張している。児童数の増加や学校が手狭になったりすると当然考えていくことであるが、学校環境全体を良くする、あるいは学校を有効に使うには、将来学校を拡張した方がよいということであれば、拡張せざるをえないと考えている。

住民 南側になったときに児童館が離れてしまう心配があるが、もともと下曽根地区の子ども達は、現在の児童館には行きにくく、逆に放課後に児童館へ行き遊んで帰ってくるとなると、遠く離れた場所に行くことになり、往復の距離がかなり出てしまうので、下曽根地区の子どもについては疎遠的な児童館である。なので、予算面のこともあると思うが子どものことを考え、今回の移転を機に児童館の位置を見直してほしい。

教委 確かに児童館があまり離れてしまうとその役割自体が果たせなくなってしまうということでは十分承知している。移転先が決まった段階で、皆さんの意見を聞くことや、児童館の移転のみこだわりのではなく、児童館の機能はというと、放課後の子どもの預かりであると思う。甲府市で実施している放課後児童クラブや放課後子供教室を進めていることもあるので、こういったものを同じ学校の敷地内、または近くに設置するなど全体で検討していきたいと思っている。

住民 甲府市の放課後児童クラブについては、学校に併設、または近くにあるので、今回の移転についても、そのようなものを併設して下曾根の児童も使いやすくしていただきたい。親の要望であり、均等に使えるように児童館も一緒のエリアに考えていただきたい。ですから、用地的にも将来的にも広がるような可能性を秘めたところを選定していただきたいと思う。

教委 繰り返しになるが、中道地区では、北小も南小も放課後児童クラブを児童館で実施しているが、国で進めているのは、なるべく学校の敷地の中で安全安心な居場所づくりをするということであるので、余裕教室を使って児童クラブや子供教室をするようにとのことなので、移転の際には、敷地の中でできればと思っている。

住民 現在の児童館は外の遊び場がなく、室内の集会所として使われているので、これを機に本来の児童館として、学校と併設して児童クラブと一緒にやっていただくと下曾根地区の子どもについても平等に使えると思う。

住民 リニア駅の半径4km以内を魅力的な都市にして、山梨県の課題である人口減少について他県から定住人口を呼び込んで活性化をしていこうという、リニア環境未来都市構想があるが、その中で、リニア開業を活かした定住人口の増加について、住環境の整備や子育て支援の充実に取り組むべきだとしており、子どもを第一ということを重要視し、若い母親などがあの学校に行かせたいと思う魅力的なものをつくったらどうかと進言している。

中道北小近くも環境の良い開かれた田園集落で先導的景観形成地域であるので、子育て環境も、充分県の政策に教育委員会も配慮していただいて、魅力ある学校、子育て環境の充実に結びつくような学校をつくっていただきたい。

樋口市長は、子ども最優先のまちをつくと掲げているおり、環境のよいところで子育てをするべきであると、県も市も行っているので、学校用地については、目の前の最小限で移転できるところではなく、子育て環境の充実など将来につながるような場所の選定をお願いしたいと思っている。

教委 中央道の南側については、甲府南インターチェンジや新山梨環状道路など高速交通の結節点として考えられるので、今後、リニア開通することに伴い様々なかたちで開発が進んでくる可能性も充分ある。

そうした中、行政の立場として教育環境の整備は当然第一に考えなければならないが、将来の子ども達の雇用を確保するための産業の振興や優良農地の確保ということも、地域の皆様の将来を考えて取り組んでいくべき重要なことであると思っている。そのようなことも是非ご理解いただきたい。

住民 比較表の中で、開発について触れているところがあり、南側に行くと環境が悪くなるようなニュアンスが見受けられるが、都市計画法で学校の周りには、つくることができない規制があるので、学校を建てれば、いかがわしい施設はできないので、その辺は都市計画法で守られると思われる。インターの近くに学校を建てるのではなく、大きいエリアの端から決めていく。中央道を挟んだ南側の方が開けているので環境的にも良いのではないかと思う。

中央道南側でグラウンドが北側、校舎が南側とあるが、これは建築の工夫の仕方によって、グラウンドが南側、校舎が北側ということは十分可能であると思う。北側に校舎をつくれば背面は水回りになるので、騒音を遮断するトイレや更衣室などの遮音壁で構成していけば可能ではないか。

住民 3人子どもがおり、真ん中と一番下の子は小学校に通うのではないかと思います。1回～3回の説明会に参加しているので内容については理解しているが、3方から囲まれている場所で、騒音、磁力、景観も問題ないという報告を受けているが、騒音にしろ、磁力関係にしろJRの想定で大丈夫でしょうということまで話が出ているだけではないかと思っており、実際、磁力の影響などは分からないので、建ててしまってから建てなければ良かったという話になるくらいであれば、最初からリスクがあるほうに建てるべきではないというのが正直な意見である。

北側と南側の比較検討があるが、騒音はだいたい一緒、デメリットとしては児童館と駐在所が離れてしまう。児童館の場合は、先程も意見があったが、小学校の施設を使えばよいだけの話ではないかと思う。まとめると農振が外れるかどうかではないかと思った。なるべく少しでもリスクがあるところには通わせたくはないというのが親の気持ちだと思う。

教委 教育委員会も今の意見を受け止めた上で判断していきたいと思う。教育委員会がこうだというよりも、皆さんから意見を言ってもらい、それを基に判断していきたいと思っているので、意見をお聞きしたい。

住民 北側と南側でどちらもメリット、デメリットがあると思うが、騒音で南側が大きくなっているのはどうしてか。校舎の配置について校舎が南側、グラウンドが北側となると職員室からグラウンドが見えなくなるということと先生の監視が甘くなるということで書かれているがその辺の説明をもう少し聞きたい。

教委 騒音については、ここに記載してある数値は、各場所の1分間ごとの最大値の範囲を記載している。ここで見る限りにおいて若干音が大きいと示させていただいたが、その音がどの位大きいかは、ここでは表現できない。現状で測ったら南側の方が大きかったということである。

校舎の配置については、中央道南側で、校舎を南側に建てた場合に、基本的には南側に窓が配置されるので、廊下が北側になる。そうすると職員室から直接グラウンドが見えず、安全管理の面で見えにくくなるという状態になるということである。これについては、場所が決まったら、最善の建て方というものがあると思うので、ここでは想定というかたちで考えられるのではないかとということで記載をした。

住民 校舎の配置について決まった規定などあるのか。

教委 規定はないと思うが、今までの説明会の中で、リニアや中央道があっても一年中窓を閉め切ってしまうような学校にしてほしくないという意見が何人からか出されている。中央道を背にして、すぐ隣接したところに校舎を建てた場合、音をある程度遮断するとは思いますが、一年中窓を開けていられるかとなると、北側だから窓をつけないというわけにもいかない。

現在の北小学校へ行ってわかったことであるが、北小学校のグラウンドに立つと国道の音が非常にうるさいが、校舎の中に入るときほどでもない。2階、3階の教室のベランダに出ると、音がうるさいと思うが、窓を開けた状態で教室の真ん中くらいまで入るとほとんど気にならない。教室の北側を考えると北側は通常廊下があり窓があるが、音をこの窓でまずは減らし、廊下と教室の間の上下の小さい窓がある大きいボードの壁で2重に音が遮断できるので、北から音はある程度防げると思っているが、中央道の近くに建てると3階くらいが中央道と同じ高さくらいになってくるので、直接音が入り込んでくるため防ぐのが難しいのではないかと思っている。なので、中央道南側では、校舎を南側に配置しないと音が防げないのではないかと思ったということである。

南側の方が騒音が大きいという指摘であるが、他の自治会の説明会でも指摘をされたが、現地へ行くとわかると思うが、D地点についての測定値であるが、下のほうは51.2デシベルであり、上は61.2デシベルとなっており、これが全体的に南側の方が音が大きいというイメージを与えているが、土手沿いの国道は上りになっており、大型車両などがエンジンを吹かす、中央道のインターについても上りながら加速していくので、大きい車が多く通るほど音が大きくなる。当初、61.2デシベルという最大値を資料に載せていたが、指摘をされたので、このように直したもので説明している。この地点で音が大きいという結果が出ているが、これは最高値の範囲の中で音が少し大きいということである。

住民 騒音のことをここで争ってもしょうがないが、これはリニアがないときの比較であってこれにまたリニアが入ったときには、北側についてはこれに加算されてくるので、どのように見るのかは分からない。先ほども意見があったが、不確定要素のある部分については、なるべくないほうが良いのではないかと感じている。

教委 教育委員会として、教育環境を悪くするところにするのではなく、技術的に乗り越えられるものであれば、それを心がけていきたいと思っている。説明会でも、リニアにフードを架けるのかという質問があるが、教育委員会としては強く要望していく。ただし、設置するのはJRであり、JRでも地元から要望があることは承知しているが、フードを架けるとは聞いていない。中央道についてもうるさいのであれば、防音壁についても心がけていきたいと思っている。

住民 騒音や磁力は技術的なことで乗り越えるということはわかったが、第1回から第4回の説明会で子どもに対する心理的など、情緒的など、心豊かな子どもを育てるという面で、やはり北側は南側に中央高速があり、そこに防音壁が見えたときの風景が、子どもの教育の場としてふさわしいか、山並みなどを加味すると、これについては個人差があるが、この地にある特徴というのは山並みが見え、広々としたところで子どもを育てたいというのが親の願いであると思うので、3方を囲まれたところは避けてもらいたい。

イメージとしてJRのホームページから印刷してきたものを持ってきたが、これを見ると北小が左の方にあり30mの構造物というと、北小の倍くらいの構造物になる。これを見たときに背後にリニアを背負い西側に国道が通り、南側に高速道路の防音壁があるようなところで子どもを通わせたくないの、音の関係などは分かったが、心を豊かにするというのを是非、最優先にさせていただいて、あと将来的な広がりや可能性など、将来良い子供が育つようところ

を選定していただきたいと思う。北小学校が3階建てなので大体15m位であるからリニアの高架は倍くらいの高さになる。都会の真ん中であればしょうがないが、田舎であるので、子どもをそのような場所に通わせたくないというのが気持ちである。

住民 イメージ図など意見の材料として配っていただければと思う。

教委 説明会において、イメージ図を出させていただいたが、実物でないと想像しにくい部分もあると思う。

住民 この資料の8ページに防犯の項目があるが、これは登下校時、それとも学校にいるときの学校全体のどちらを想定しているのか。

教委 両方とも想定している。

住民 今の学校は、国道140号線がひとつの壁になっている。今回、中央道の法面の近い部分に校舎を建設するということになると、可視性というか学校を外部から見通す問題で、見通しが悪くなる面が一面増えることになる。そうすると防犯上の問題については、南側の方が多くの人から通学路など学校に目が届くというようにも考えられるのではないかと思います。

学校という性質を考えると、せつかく中央道の南側にあれだけの景観があるのに、あえてそれを放棄して、中央道の北側に建設するということが、個人的に納得できないというか理解できない。

自分たちが小学校の時には、白根三山、土手もあまり高くはなかったが眺望としてはすばらしかった。それを放棄するのはあまりにももったいないと考えている。

住民 学校の防犯対策として、高い塀を覆って防犯カメラをたくさん置くということには限界がある。地域の方が一緒に見守るということで影をつくらず、農作業をしている人や通行している人がそれぞれ見て、安全を意識して子どもを見通しよく見守ることが基本であると思うので、囲まれたところでなく死角がないところに建てるということも考えても良いと思う。

防犯性の面では、民家が多少あるのでその目でも見てもらうが、民家がないから安全ではないということではなく、見通しよく、農作業している人、そこを通る人、国道を通る人が見守るようなイメージも考えてもよいと思う。

住民 これまでの会議でもかなり意見が出ているが、今回、中央道北側だと北側の敷地の北に校舎を建てる予定になるが、そうすると電磁波の問題については、今からのことでどのような影響があるのか分からないので、極力離してほしいということで南側を希望している。

安全パトロールの面で中央道のトンネルからは畑になる。子ども達が通学するとき、不審者に声をかけられことが何回かあったが、南側に学校が建てばそういうことがなくなるので、安全の面でも役に立つと思う。北側の方は民家が何件かあるので安全であると思うが、下曾根の方は畑であるので危険度が高い。リニアの高架は高く回りを塞いでしまい景観も悪いので、のびのび出来る環境がある南側をお願いしたい。本日参加している方の意見は、南側のほうで賛

成していると思っているので、お願いしたいと思う。

教委 下曽根北地区の皆さんの意見としては、概ね中央道南側の要望が多かったということで受け止めさせていただいた。

今後については、各自治会を回り、皆さんの意見を伺う中で、移転先を決定していく判断材料としていきたいと考えている。

6 閉会